


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道55号 牟岐バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：徳島県海部郡牟岐町川長 至：徳島県海部郡牟岐町中村	延長	2.4km		
事業概要	一般国道55号は、徳島市から高知市に至る延長約200kmの主要な幹線道路であるほか、徳島県南部地域及び四国東南地域の陸上交通の基幹的な動脈であり、県民の生活や経済、観光振興に大きな役割を果たしている。牟岐バイパスは、災害時の代替路線の確保、市街地から通過交通を転換することによる混雑緩和、交通安全の確保、広域的な交通ネットワーク形成による県南地域の活性化を目的とした延長2.4kmの2車線道路である。				
H16年度事業化	—				
全体事業費	約70億円	事業進捗率	5.7%	供用済延長	—
計画交通量	5,600台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 1.4	総費用 (事業)/ (事業全体) 51/61 億円 事業費：47/57 億円 維持管理費：3.6/3.6 億円	総便益 (事業)/ (事業全体) 72/72億円 走行時間短縮便益：54/54 億円 走行経費減少便益：15/15 億円 交通事故減少便益：3.8/3.8億円	基準年	平成20年度
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動： B/C=1.5(交通量+10%) B/C=1.3(交通量-10%) 事業費変動： B/C=1.3(事業費+10%) B/C=1.6(事業費-10%) 事業期間変動： B/C=1.4(事業期間+1年) B/C=1.5(事業期間-1年)				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（並行区間である国道55号の旅行速度向上が見込まれる） ・安全で安心できるくらしの確保（徳島県南部地方生活圏から三次医療施設、産科医療施設へのアクセス向上） ・災害への備え（津波による浸水が予測されている国道55号（第一次緊急輸送道路）を代替する） 他13項目に該当 				
関係する地方公共団体等の意見	牟岐バイパスは、災害時の代替路線の確保、市街地から通過交通を転換することによる混雑緩和、交通安全の確保等に重要な役割を果たすことが期待されており、徳島県をはじめ、美波町、牟岐町、海陽町等から早期整備の要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年3月 日和佐町と由岐町の合併により美波町が発足、海南町と海部町及び穴喰町の合併により海陽町が発足 ・平成19年9月 県南地域唯一の分娩可能病院の産科が休止、当該地域の産科医療が深刻化している 				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成20年度に設計協議に着手し、道路詳細設計を実施中。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地・工事の推進を図り、平成20年代後半の全線供用予定である。				
施設の構造や工法の変更等	プレキャスト製品の採用や、コスト縮減につながる最適な橋種、トンネル内空断面、施工計画等を今後検討していく。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。